

NPO法人星のソムリエ機構への移行

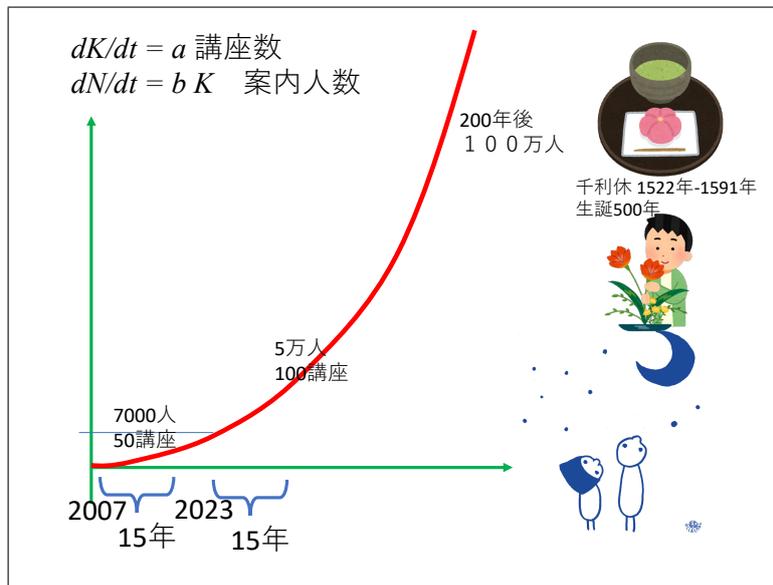
柴田晋平、NPO法人星のソムリエ機構の会員を代表して

2023年3月4日

2022年度運営機構の活動
と
特定非営利活動法人
「星のソムリエ機構」
への移行

星空案内人資格認定制度運営機構
機構長 柴田晋平
他、機構メンバー

星空案内人(星のソムリエ)資格認定制度は当初より「町内に一人星空案内人」を目標にしてきました。職場に一人案内人といってもよいのですが、ちょっと宇宙・星空に気になることがあったら聞けるひとが誰の周りにも見つかる、あるいは、宇宙・星空について語ってくれる人が誰の身の回りにもいる、それくらい社会に浸透させたいという目標です。



お茶、お華に続く、文化は「お星」と言われるようになっていくのですが、すると、稽古人口100万人という数値目標が浮上します。講座開講数と星空案内人の数は、この微分方程式の通りに変化していることが分かっています。現在、2007年の発祥から15年が経過して、50講座、7000人の資格認定されています。すると、計算すると、200年後に認定数が100万人になり、これは、お茶の千利休が2022年生誕500年ですから、お茶と同じように私たちは順調に成長していて、200年後には「お星」が誕生していることとなります。近未来の目標としては、15年後に講座数が100、星のソムリエが4万人とするのが妥当であることがわかります。



しかし、ここで、「はらぺこあおむし」の絵本をみながら考えたんです。今のシステムだとだめだろう。脱皮しながら、最後は蝶にならないといけない。蝶になればうまくいくと。



従来の守備範囲

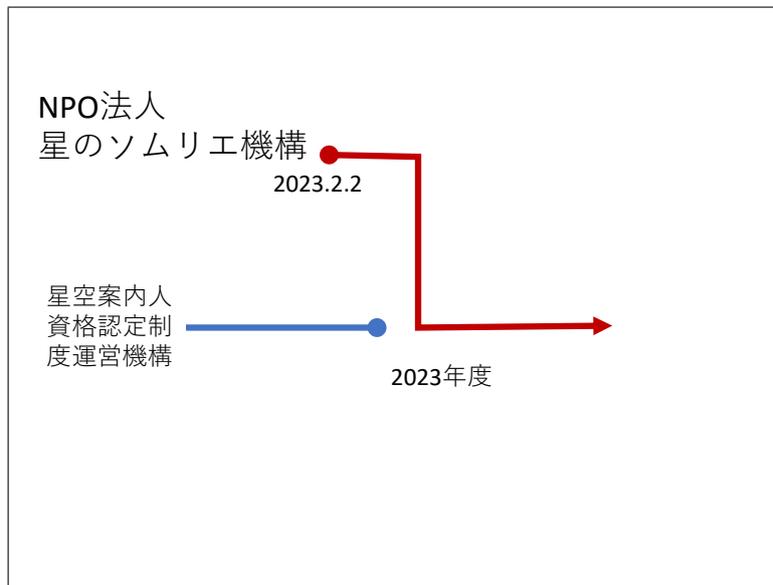
制度規則の維持、認定レポート・認定チェック
シートの改定・更新
講義要項の改定
ヘルプデスク、
問い合わせ対応
新規団体申請の
サポートと審査
など



これまで、私たち星空案内人資格認定制度運営機構は保守点検に徹してきました。認定レポートの問題を作ったり、講座の実施団体から寄せられる困りごとの相談に乗ったり、新規の参加団体へのコンサルをしたり。



無償ボランティア数人でこれをこなしてきました。でも、次の15年は新しい組織に飛躍しないといけないと方程式通りとはいかないと思いました。



2022年度は蛹(さなぎ)になって準備をしてきて、今、体がむずむず動き出して、蝶になるのが2023年度です。

この15年間に感じたことは、「星のソムリエは今後発展させる価値のあるものだ!」ということです。ここにおいでのもみなさんもそう感じているとおもいます。それを確信したので、ひとまわり大きな組織に生まれ変わる必要があると判断したわけです。

「特定非営利活動法人 星のソムリエ機構」を設立しました。法的には今年2月2日に法人が設立され、今後、数ヶ月をかけて現在の星空案内人資格認定制度運営機構の機能を完全に法人に移行する計画です。



新事業の一部を紹介します！

蝶になった星のソムリエ機構は、今後は制度を維持するだけでなく積極的に星のソムリエを発展させる事業を展開する計画です。

現在計画している幾つかの事業を紹介したいと思います。



[星のソムリエのためのワークショップ開催]
星空案内の内容の向上のためのワークショップを行う

[全国星のソムリエサポート]
星のソムリエの活動の発展のための組織的なサポートを行う。例えば、「星のソムリエ友の会(仮称)」のような会を作り、星空案内に必要なマテリアルなどを提供するなどサービスを行う。連帯感の持てるサービス。

星のソムリエのためのワークショップ開催という新規事業では、星空案内の向上のためのワークショップを行うのですが、その中身は普通ではありません。星空案内にでてくる色々なテーマについて専門家を呼んで講演をいただき勉強するというのは、普通、よくある話です。たとえば、宇宙論のテーマなど難しいですよね。しかし、私たちが欲しいのは星空案内人がどう理解するのがよいか、どのように話すのかという具体的な内容ですよね。専門家を交えて星空案内の現場で使えるものを作り出すところところまでワークショップでやる予定です。

全国星のソムリエサポートという事業では、例えば、「星のソムリエ友の会(仮称)」のような全国的な連帯を作り、星空案内に必要なマテリアルなどを提供する、交流の場をもうけるなどのサービスを行いたいと思っています。これから具体的に何ができるか検討しているところです。

講座の実施団体の悩みの一つはよい講師を見つけることです。**講師研修/養成**の事業では、本制度の講座講師や実施担当者研修会を開催します。将来、本制度に参加したい希望を持っている方も対象です。



[講師研修/養成]

本制度の講座講師や実施担当者研修会を開催する。
(将来、本制度に参加したい希望を持っている方も対象)

[新規参加を目指す団体へのサポート]

今後、本制度の実施団体になり星空案内人を養成したいと考える団体に対してサポートを行う。

新規参加を目指す団体へのサポートを積極的に行おうと思っています。

機構自身の手で講座を開講し、星空案内人を養成しながら、良い制度にするための研究をおこないます。そのための機構が直接開講する**附属ラボ講座**を開きます。最初の講座は仙台で行おうと現在準備中です。お手伝いをしてくださっている小さな天文学者の会の星の宮城グループの方がポスターを出しているのも参考にしてください。

星空案内人講座の対象外とされがちな子供、および子供を持つ保護者対象への制度普及活動を推進し、星空案内する人材の育成に貢献しようとしています。そういった**星のソムリエユース**の事業も始めます。



[星のソムリエコース]

星空案内人講座の対象外とされがちな子供、および子供を持つ保護者対象への制度普及活動を推進し、星空案内する人材の育成に貢献する。

[附属ラボ講座]

法人自身でも講座を開講し、星空案内人を養成する方法を研究するための実験プラント。実施団体と同様の活動を法人で行う。



[地域活動支援]

星空案内人が地域で行う活動の支援を行う。

[海外との交流]

星空案内活動を通して海外の人々との交流を図る。国境のない星空案内活動の構築を目指す。

などなど、、、 法人メンバーが自由に羽ばたく

地域活動支援や海外との交流 事業も行う予定です。



新NPO法人

星のソムリエ機構で

星のソムリエの発展に寄与したい
自分自身の自己実現をする場としたい

というみなさん、どうぞ参加ください。

窓口：星空案内人資格認定制度ホームページのヘルプデスク(質問・相談窓口)のフォームに記入して送信！



これらはやってみたい人がこの指止まれ方式でやっていきます。運営機構に参加して夢を実現したい方は大いに歓迎いたします。